



平成16年5月14日

各 位

会社名 アツギ株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡安清友
コード番号 3529
問い合わせ先 常務取締役 藤本義治
(TEL 046-235-8111)

第2次中期経営計画について

当社グループは、「企業価値（株主価値）の向上」を目指して、平成13年から平成15年までの第1次中期経営計画において、中国における生産拠点の確立とそれに伴う国内生産拠点の統廃合を実施するとともに、年金改革、本社機構改革、新人事制度の確立等の抜本的な構造改革を実施してまいりました。しかしながら、予想を上回る内外環境の悪化とデフレの進行により所期の売上拡大は果たせなかったものの、対策項目は着実に実施することができました。

今後ますます事業環境の厳しさが予想される中、さらなるブランド力の強化と経営の効率化を目指しここに平成16年から平成18年までの第2次中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

第2次中期経営計画のメインテーマ

営業力強化

利益の出せる体制が整ったので“営業力強化”を第2次中期経営計画のメインテーマとし、「企業価値（株主価値）の向上」を目指します。

連結業績数値目標（平成18年度）

	H15年度	H18年度
売上高	274億円	300億円
経常利益	5億円	20億円
株主資本利益率 (ROE)	0.1%	3%

企業価値向上のための3つの強化策

1. 営業基盤の強化
2. 収益構造の強化
3. 組織能力の向上

1. 営業基盤の強化

当社は、「美の追求」を通じ、女性の美しさと快適な生活に役立つ企業として、「お客様価値の創出による企業価値の向上」を目指します。ここで確立されたブランド・コンセプトをもとにアツギブランドの確立を図り、アツギの持つ総合力である企画開発から生産・販売までの一貫通貫の組織体制を結集し、営業力の一層の強化を図ることにより、売上と収益の拡大を目指します。

< レッグ事業 >

市場地位の向上を目指し、パンティストッキングのリーディングカンパニーとして商品開発力を強化し、クリエイション力を高めて高感度のオリジナリティあふれた“ファーストワン”“オンリーワン”のブランドを育成してまいります。

マーケティングシステムと開発力・技術力の連携強化により高付加価値新商品を継続導入し、これからもストッキングの新しい価値創造を実現してまいります。

海外市場ではEU圏（英国中心）・アジア（中国・韓国等）を中心に、販路の拡大により売上を着実に拡大してまいります。

< インナー事業 >

商品企画力を高め、オリジナリティあふれた高付加価値の商品をご提案してまいります。

独自のブランド価値を創出し、業界での確固たる位置付けを確立してまいります。

< 介護用品 >

高齢化社会を迎え拡大が予想される介護市場向け商品の開発を積極的に行うとともに、介護用品の販売ルート拡大を図り、介護用靴下やインナーを含めた衣料商品の開発、販売を強化してまいります。

- ・ レッグ、インナー事業におけるブランド資源の有効活用によるトータルブランド戦略を実施し、コーポレートブランド価値の最大化を図ります。
- ・ 研究開発・マーケティング部門は付加価値向上を目指し、光触媒等の最新テクノロジーを追及した高機能商品群と最新のファッション動向を着実に捉えたファッション商品群を両輪とした高付加価値商品の開発力を強化します。
- ・ 営業支援システムを更に有効活用することにより、店頭を発想の基点とした提案型でスピード力のある営業体制を育成し、営業基盤の強化実現を図ってまいります。

2. 収益構造の強化

生産・販売・物流の各機能部門は、効率追及を目指し、関係会社を含めた徹底したトータルコストダウンを推進し、キャッシュフローマネジメントを推進強化します。

1. トータルコストダウン

お客様が「求めている品質」を見極め、製造プロセスに先端技術を導入するとともに、生産・販売・物流の各機能部門はさらなる効率化を図り、グループトータルでのコストダウンに取り組めます。

2. 最適SCM（サプライチェーンマネジメント）の確立、運営

糸の加工から製品までの一貫生産と、小売店への直販体制の効率化を図るため、企画開発から生産・販売・物流の情報の共有による最適なSCM体制を確立します。

IT活用によるロジスティクスシステムのレベルアップと安定的かつ効率的なサプライチェーンの実現を図り生産から販売までのリードタイムのさらなる短縮を図ります。

- ・ 第1次中期経営計画で実施した生産システムの改革をさらに推進いたします。ITの導入を生産現場に徹底し、常に革新性をもった現場力を実現します。
- ・ SCMの効率運営により、トータルリードタイムの短縮とトータル在庫を削減し、キャッシュフローの増大を図ってまいります。
- ・ 間接部門を含めた各部門は業務におけるムダを徹底的に洗い出し、排除することにより効率化と収益力の改善を進めてまいります。

3. 組織能力の向上

成果主義・能力主義の徹底と人材開発・強化による少数全員精鋭体制を構築し、グループ力の向上を目指します。

1. 連結重視マネジメントの実践

グループトータルでの経営資源の一元管理とその最適配分を目指すとともに、連結管理体制を強化してまいります。

2. コーポレートガバナンス体制の強化

企業価値の最大化を図るためには、コーポレートガバナンスの強化が重要であると認識しており、経営の透明性と健全性の確保、適時・適切な情報開示を行うことにより、経営のスピードアップを図りつつ、コンプライアンス体制の強化された経営を実践することで「企業価値のさらなる向上」を図ってまいります。

3. 成果主義の徹底

厳しい環境に立ち向かい、挑戦し続ける気概を全社員で共有するため、「期待役割と成果」に基づいて成果と報酬を適正に連関させる体制をさらに充実させます。

客観性と透明性の高い評価制度や能力・成果主義を中心とした人事制度の導入により、従業員のやる気と創造力を高揚し、一層活力ある企業を目指してまいります。

4. 環境、品質マネジメントシステムの推進によるCSR（企業の社会的責任）の確立

環境マネジメントシステム「ISO-14001」の更新と管理レベルの向上を図り、省エネルギーの推進、産業廃棄物の削減等により環境管理体制を強化します。

品質マネジメントシステム「ISO-9001」の取得を目指します。

環境問題の改善に貢献するとともに安全かつ良質な製品を提供することによりCSR（企業の社会的責任）を確立してまいります。

- ・ 外部環境の変化にスピーディに対応し変化を厭わない柔軟な組織作りを目指し、従業員が高い志と優れたマネジメント力を身につけるための諸制度の強化、導入を図ってまいります。

当社グループは上述の様々な施策を通じ、広くはアパレル産業の中で独自の地位を築くとともに、靴下業界においてはリーディングカンパニーである事を堅持し、またインナーウェア業界においても、アツギブランドの再構築を図ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上